2016 年 11 月に松戸市と千葉大学予防医学センターとの共同事業として、都市型介護予防モデル「松戸プロジェクト」が始まりました。このプロジェクトは、市民が地域活動に参加することで健康寿命の延伸を促進し、同時に、そのことを科学的に実証しようとする試みです。

私たち市民パートナーは、プロジェクトの一環として松戸市高齢者支援課主催の「元気応援くらぶ」に関連した行事をお手伝いしたり、パートナー主催の「通いの場」交流会を開催したり、様々な形でプロジェクトをお手伝いしてきました。

さて、パートナーたちは、日頃、どんな活動を行ってきたのでしょうか？　ニュースレター 3 月 30 日号では 2019 年度の振り返りとして、この 1 年の私たちの活動をまとめてみました。

1)「松戸市の地域活動を推進する会」設立 2019 年 1 月

「松戸 PJ」市民パートナーは、全くのボランディアで、パートナーの活動のための予算の裏付けがありません。そこで、様々な団体からの市民活動助成金を獲得することを目指して、2019 年 1 月にパートナーのメンバーを中心に「松戸市の地域活動を推進する会」を設立しました。これは、助成金申請のためには、単なるボランティアの集まりでなく、きちんとした組織が必要となったからです。その結果、次の助成事業に採択されました。

i）2019 年 CO・OP 共済地域ささえあい助成
ii）第 8 回杉浦地域医療振興助成

2)「松戸プロジェクト」中間報告会 2019 年 3 月 10 日 東葛クリニックみらいホール

参加者：52 名（男 28 名　女 24 名）。当日、東葛クリニック副院長秋山先生のご挨拶の後、千葉大学予防医学センター教授近藤克則先生の講演、NPO 法人サービスグラント代表嵯峨生馬さん、松戸プロジェクトパートナー代表の菊谷則行さん、地域包括センター長丸山康一郎さんの活動報告があり、休憩のあと「松戸市の地域資源を見える化するワークショップ」が行われました。

私たちパートナーは、開会の準備、ワークショップの司会やファシリテーターとして報告会のお手伝いをしました。

ワークショップでは、松戸市の地図を広げて通いの場となる社会的資源の場所をマーキング

大勢の方にお集まり頂きました